

国・私立中学入試模擬試験

2017年度 8月号

●小学4年●

国語

所要時間40分

◇試験の前に必ず読みましょう◇

- 1 この問題用紙は、先生の「始め」のあいずがあるまで開いてはいけません。
- 2 教室コード番号・受験者コード番号・氏名は、とうあん答案用紙の所定のらんにはっきりと記入しなさい。(コード番号は算用数字で記入すること。)
- 3 答えはすべて答案用紙の決められたらんにはっきりと書きなさい。答えを書き直す場合には、消しゴムでかんぜん完全に消してから書きなさい。
- 4 しつもん質問のある場合には、だまって手をあげて先生にたずねなさい。
- 5 先生の「やめ」のあいずがあったら、しじ指示にしたがって答案用紙をていしゅつ提出しなさい。

〔国語の注意事項〕

- ◆ とく特に指示のない場合は、くとうてん句読点や「ふごう」などの符号も一字に数えること。
- ◆ 文字数の指定のある場合は、一字につき一マス使うこと。
- ◆ 二つ以上の記号を答える場合は、「すべて」えら選ぶ場合を除き、一つの解答らんに一つの記号を書き入れること。

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

人間が話す言語がいったいどれくらいあるのか、その数を正確に計算することは非常に難しいことですが、ある言語学者の統計によれば、これまでに存在した言語は全部で約七〇〇種類くらいで、現在の地球上で使われているものだけに限れば、だいたい三〇〇種類くらいの言語があるとされます（これには異説もたくさんあります）。しかしこれらの言語を表記するための文字となると、その数はぐっと少なくて、だいたい四〇〇種類くらいと推定されています。

なおこの四〇〇種類というのは、「ヒエログリフ」という名で知られる古代エジプトの象形文字や、粘土板に刻まれたメソポタミアの楔型文字などの古代文字、あるいは契丹族が中国北部に建てた遼王朝（九一六―一二五年）で使われた「契丹文字」、メキシコから中米にかけて六世紀以降に栄えたマヤ文明で使われた「マヤ文字」のように、まだ完全には解読されていない文字も勘定の中に入っています。

② A 古今東西に存在した、あらゆる文字の総数が、だいたい四〇〇くらいだと推定されるわけです。

このように文字の種類が言語の数にくらべて十分の一くらいしかないということには、もちろん理由があります。理由の一つは、「みずからを表記するための文字をもたない言語」があるからです。世界中のどんな言語であれ、「音

声のみあって文字をもたない言語」はあっても、その逆の場合、つまり「B」だけあって「C」をもたない言語」というものは存在しません。文字をもたない言語が使われているところでは、いわゆる「無文字社会」が形成されま

す。

文字をもたない、あるいは文字を使わない人々や社会について、これまでともすれば「未開で遅れた状態」と考えられてきました。しかしそれは、文字をもってしている世界から対岸を眺めた時の、一種の差別と偏見に基づく考え方といわねばなりません。文字をもたない世界には、文字をもっている世界とはまったく質を異にするコミュニケーションの方式があつて、文字は必ずしも「文明的な世界」と「野蛮な状態」を分ける指標とはなりません。

無文字社会で文明を発達させたもつとも代表的で有名な例は、かつて南米大陸で華々しくさかえたインカ文明でしょう。

ペルー南部のクスコ盆地を中心に、十五世紀から十六世紀初めまで栄えたインカ帝国の文化は、きわめて華麗かつ高度に展開されたものでした。しかしインカの人々は文字をまったく使いませんでした。彼らは文字の代わりに「結縄」（縄を結び、ことわざまなことを記録する方法）を使って、多くの記録を残しました。

インカの人たちは文字だけでなく、鉄で道具を作ることも知らず、基本的には新石器段階の物質文化を維持していました。また車という道具もそこでは作られませんでしたが、しかしそれでも道路の建設や飛脚制度などはかなり発達していましたし、鉄は知られていなかったものの、金属の冶金術は広くおこなわれ、青銅器は装飾器のみならず、工具や農具など生産活動のための道具がたくさん製造されました。インカの文明の質は決して低くはなく、それどころかきわめて高いもので、その成果として精巧な石工術を用いた壮大な神殿や宮殿などが、今もクスコ市およびその周辺にたくさん残っています。

そのほかにも、「無文字社会」で高度な文化を展開した例として、日本の先住民族であるアイヌ民族の文化があります。

アイヌ民族の人々は北海道を中心として、素朴な中に力強さをひめた文化を長期にわたって花咲かせてきました。その言語（アイヌ語）は第二次世界大戦終結まで樺太（サハリン）南部や、国後・択捉などいわゆる「北方領土」でも日常的に話されていました。ここでは文字がまったく使われませんでした。しかしそれでも、「ユーカラ」と呼ばれる美しい長編叙事詩が口伝で傳承されてきましたし、狩猟採集生活に根づいた素朴で力強い文化がここでは展開されてきました。ずっとのちに染織工芸家である芹沢銈介

氏（一八九五—一九八四年）などが作品の中に取りこみ、芸術的に洗練されたアイヌ民芸は、いまでも多くの人々に感動を与えつづけています。

現在のアイヌ語は北海道に少数の話し手がいるだけで、日常生活ではほとんど使用されていません。D 近年、アイヌ文化の保存と復興の機運が高まるなかで、言語の復興運動が展開されていて、わずかながらも新たな話し手が育ちつつあるそうです。そしてその言語は明治時代以降、文献による記録を残すため、ローマ字やカタカナなどで表記されるようになり、さらにより正確に表記できるようにと、たとえば「ト」に半濁点をつけたカタカナを作るなど、種々の工夫がなされています。

文字の種類が言語にくらべて格段に少ないという事実の背景には、上に述べたような無文字社会の存在があります。が、それよりもむしろ、より大きな理由として、ひとつの文字が複数の言語を記録するのに使われるという現象があります。

たとえば西ヨーロッパに位置する国々では、英語をはじめとしてフランス語、ドイツ語、オランダ語、イタリア語それにスペイン語などが使われ、それはもちろんそれぞれ異なった言語ですが、しかしそれらを表記するための文字は、日本で「アルファベット」、あるいは「ローマ字」と呼んでいるラテン文字ただ一種類だけです。

同じように、ロシア語やポーランド語、それにハンガリー語など、スラブ語系統けいとうに属ぞくする言語はいずれも「キリル文字」という文字で表記されています。これはもともと古代ブルガリア語（古代教会スラブ語）の表記に使われた文字で、九世紀せいにギリシアの伝道僧でんどうそうキリロス（別名べつめいコンスタンティノス）とメトディオスの兄弟が、ギリシア正教を布教ふきょうするため福音書ふくいんしょを翻訳ほんやくした時に、キリロスがギリシア文字の大文字の形かたちに基づいて作った文字で、だから「キリル文字」と呼よばれているのですが、今では上うへにあげた言語のほ

かにブルガリア語、セルビア語、マケドニア語などの表記にも使われます。

日本人の言語生活かたがに欠かせない漢字は、いうまでもなく中国で生まれた文字でした。しかし今では漢字は中国語以外がいに日本語や韓国語かんこくごを書くのに使われ、以前はベトナムでも言語の表記に使われていました。

言語の数かずに比べて文字の種類しゅるいが格段かくだんに少なくなっているのは、このような理由りゆうによるわけです。

（阿辻哲次『漢字のはなし』）

- 注1 中米ちゆうべいⅡ中央アメリカ。「米べい」はアメリカの漢字表記「亜米利加あめりか」を略りやくしたものの。
- 注2 古今東西Ⅱ昔から今までと、世界のあらゆる所。
- 注3 コミュニケーションⅡ人間がたがいに気持ちや考えを伝え合うこと。
- 注4 指標しひひょうⅡよりどころ。めじるし。
- 注5 新石器段階Ⅱ人類じんるいの時代区分のうち、土器や、磨みがいて鋭すじさを増ました石器を使う段階。
- 注6 物質文化Ⅱ道具など、人間が作った文化。
- 注7 飛脚制度Ⅱ遠くまで手紙や知らせを伝えるためのしくみ。
- 注8 冶金術Ⅱ鉱石から金属を取り出し、加工するわざ。
- 注9 先住民族Ⅱ移住してきた人々より以前から、そこに住んでいる民族。
- 注10 叙事詩Ⅱ実際にあったことや伝説などを物語のように述べた詩。
- 注11 半濁点Ⅱ「ば・び・ぶ・べ・ぼ」の右上についている「。」の符号。

(1) 線①「その数」とありますが、何の数ですか。本文中から二字で書きぬきなさい。

(2) A・Dにあてはまることばの組み合わせとしてもっともよいものを次のうちから選えらび、それぞれ記号で答えなさい。

ア A だから D そして イ A たとえば D または

ウ A つまり D しかし エ A なぜなら D ところで

(3) ———線②「文字の種類が言語の数に比べて十分の一くらいしかないということには、もちろん理由があります」とありますが、どんな理由ですか。次の() a・bにあてはまることばを、本文中からそれぞれ五字で書きぬきなさい。

・(a) が存在そんざいするから。

・ひとつの文字が(b)を記録きろくするのに使つかわれるという現象げんじょうがあるから。

(4) B・Cにあてはまることばとしてもっともよいものを次のうちから選えらび、それぞれ記号で答えなさい。

ア 音声 イ 言語

ウ 文字 エ 社会

(5) ———線③「対岸」とありますが、これは何を指さしていますか。本文中から二十四字で書きぬきなさい。

(6) ———線④「文字をもたない世界」とありますが、文字をもたない世界はつたで発達はつたした高度な文化の例れいを二つ、本文中からそれぞれ八字で書きぬきなさい。

(7) ———線⑤「成果」とありますが、その意味としてもっともよいものを次のうちから選えらび、記号で答えなさい。

ア すぐれたやり方。 イ 正確せいかくな見通し。

ウ 成功せいこうまでのすじ道。 エ りっぱな結果けつか。

(8) ———線⑥「これ」とは、何を指さしていますか。本文中から五字で書きぬきなさい。

(9) この文章に書かれていることに合うものを次のうちから二つ選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア ロシア語やポーランド語はラテン文字で表記される。

イ 現在、地球上にある文字の数は三〇〇〇種類くらいだと推定される。

ウ 漢字は中国で生まれ、今では日本などでも使われている。

エ 古代エジプトの象形文字は、まだ完全には解読されていない。

オ アイヌ語は、現在でも、北海道で多く使用されている。

2 次の①～⑤の漢字について、あとの(1)・(2)の各問いに答えなさい。

- ① 橋 ② 点 ③ 写 ④ 部 ⑤ 歌

(1) ①～⑤の漢字は何画で書きますか。それぞれ漢数字で答えなさい。

(2) ①～⑤の漢字の部首名をひらがなで答えなさい。

3 次の①～③の文について、あとの(1)・(2)の各問いに答えなさい。

① あの大きな建物は新しくできた病院だ。

② ちよろつとカーテンのすきまから小犬が顔を出した。

③ ぼくはどうして妹が急に泣き出したのか知りたかった。

(1) ①～③の文の主語と述語をそれぞれの――線ア～オから一つずつ選び、記号で答えなさい。

(2) ①～③の文の――線部がくわしく説明していることばをそれぞれの――線ア～オから一つずつ選び、記号で答えなさい。

4 次の①～④の——線部のかたかなのことは漢字に直し、漢字は読みをひらがなで書きなさい。

- ① 公園で友だちとアソぶ。
- ② 近所のハイシャさんに行く。
- ③ ほこらしげにむねを反らす。
- ④ 薬局でばんそうこうを買う。

解答		配点
1	(1) 文字 (2) ウ (3) a 無文字社会 b 複数の言語 (4) B ウ C ア (5) 文字をもたない、あるいは文字を使わない人々や社会 (6) インカ帝国の文化 アイヌ民族の文化 (7) エ (8) キリル文字 (9) ウ・エ	1 各2点×12＝24点
2	(1) ① 十六(画) ② 九(画) ③ 五(画) ④ 十一(画) ⑤ 十四(画) (2) ① きへん ② れんが ③ わかんむり ④ おおざと ⑤ あくび	2 各2点×10＝20点
3	(1) (主語・述語の順に) ① イ・オ ② ウ・オ ③ ア・オ (2) ① イ ② オ ③ エ	3 各2点×6＝12点
4	① 遊(ぶ) ② 歯医者 ③ そ(らす) ④ やつきよく	4 各2点×4＝8点

採点基準 1 (4)、3 (1)①③ 各完答。 1 (6)・(9) 各順不同可 2 (2)② 「れつか」でも可。

【解説】

1 問題文は、阿辻哲次『漢字のはなし』による。

- (1) 「その」は、直前の「これらの言語を表記するための文字」を指す。一行目にも「その数」とあるが、それが「言語」の数を指すのに対して、――線①は「文字」の数を指すので、混同しないように注意する。
- (2) Aは、前の段落でのべた「言語を表記するための文字」の数について、直前の一文で「古代エジプトの象形文字」などを具体的に挙げたあとで、「古今東西に存在したあらゆる文字の総数が、だいたい四〇〇くらいだと推定される」と言いかえている。Dは、前の部分で、現在ではアイヌ語はほとんど使用されていないとのべながら、あとの部分では、近年、新たな話し手が育ちつつあるそうだと反対の内容を続けている。
- (3) 直後に「理由の一つは、『みずからを表記するための文字をもたない言語』があるから」とある。そして、「文字をもたない言語」が使われている社会を「無文字社会」と表現しているから、理由の一つは「無文字社会」の存在である。また、「無文字社会」についての説明のあとで、「より大きな理由として、ひとつの文字が複数の言語を記録するのに使われるという現象」があるとのべ、もう一つの理由をしめしている。
- (4) 直前に「つまり」とあるから、「B だけあって C をもたない言語」は、「音声のみあって文字をもたない言語」の「逆の場合」を説明したものであるとわかる。
- (5) 「文字をもっている世界」と反対に位置するものは何かをとらえる。
- (6) 一つは、「インカ文明」である。これを八字で「インカ帝国の文化」と言いかえている。もう一つは、「そのほかにも、……例として」と、「アイヌ民族の文化」が挙げられている。
- (7) 「その成果として……残っています」とのべ、「インカの文明」によって得られた「神殿や宮殿」を「成果」として挙げているので、「成果」の「果」は、原因があつて生じたもの(≠結果)であるとわかる。
- (8) 「これは」→「文字で」とつながるから、どういう文字を指しているかを考える。
- (9) ロシア語やポーランド語はキリル文字で表記されているので、アは合わない。また、現在使われている言語が三〇〇種類くらいで、文字が四〇〇種類くらいなので、イも合わない。現在のアイヌ語は日常生活ではほとんど使用されていないとあるので、オも合わない。

2 漢字の画数と部首の問題。

3 文の組み立ての問題。

4 漢字の読み書きの問題。